



統括CM: 谷口 典彦

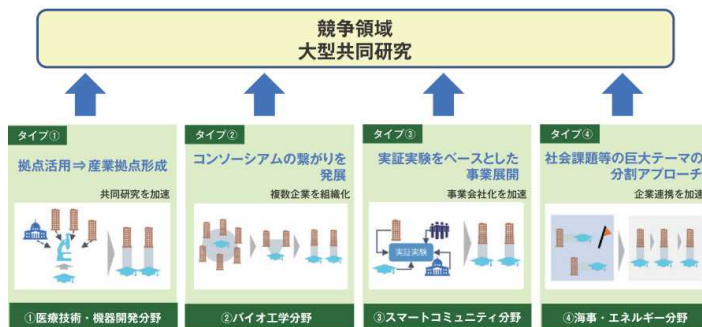
富士通 (株) 代表取締役
副社長 (事業部門担当) を経て現職。
金融機関担当のITシステムエンジニア出身

統括CMからのメッセージ

本学のオープンイノベーションは本学の理念である「学理と実際の調和」の下、文理融合を促進する人材配置を行い、本学が依って立つ地域との連携を重視しながら、課題解決型のイノベーションの創出に貢献します。本学の推進活動においては、規模、進展度合、将来性、独創性を勘案し、医療分野、バイオ工学分野、スマートコミュニティ分野、海事・エネルギー分野の4分野を重点領域として、大型の共同研究の推進に取り組み、その後に分野の拡大を目指します。プロジェクト・クリエイティブ・マネージャーには産業界で経験を積んだ人材を配置し、研究を理解し伴走する、企業視点の問題解決に注力する、オープンイノベーションのコンダクターとして共創をリードする、等の役目を果たし、企業、大学双方の観点からプロジェクトを成功に導いていきます。

機構の取組概要

本学のオープンイノベーションは、1:1の共同研究のみならず、以下に示すオープンイノベーションの形に基づいたアプローチにより共同研究を加速させます。



研究分野例

【①医療技術・機器開発分野】

大学（臨床研究）、企業（機器開発）、非臨床実証拠点が近接した環境を活用した医工連携の産業応用。



【②バイオ工学分野】

遺伝子改変を効率よく行うゲノム編集技術、微生物育種技術の産業応用。



他に

- 【③スマートコミュニティ分野】
- 【④海事・エネルギー分野】

主な取組み

- ① 様々な共通の課題を持つ企業等とプロジェクト開始段階から連携し、最適な出口戦略を描きます。
- ② 各研究領域毎の特徴を踏まえて適切なサポート体制を構築し、プロジェクトを成功に導きます。
- ③ 傘下のプロジェクトに関わる人事・評価・予算の責任および権限を集中し、企業の要求水準を満たすマネジメント体制を実現します。
- ④ 産学連携に関連するインセンティブ制度の整備・変更や大学側の提案力向上を図ることで、イノベーション創出を後押しします。
- ⑤ 1対1の大型研究だけでなく、「多様性を持つ場」から価値を生み出す共創の場を構築します。

